最優秀賞

二つのたからもの

牧 まき はるか

大山町立大山小学校一年（鳥取県）

「ジュニアアトライアスロンに出てみるか。」

五月の日曜日、おとうさんがいました。わたしは、小さいときから出てみたかったので、すぐに、

「出る。」

と、へんじしました。

それから、おとうさんといっしょにメニューをきめてれんしゅうすることにしました。

ランは、六じにおきていえのまえからはしりはじめます。おとうさんがうしろからおいかけてきて、

「もつとはやくはしれ。」

と、どなられたけど、がんばりました。

バイクは、マラソンコースをじてん車ではしりました。あたまをベルにちかづけて、まえかがみのせいになるようにきをつけました。それから、はやくペダルがまわるようにももに力を入れました。しゅう字きょうしつにいくときも、じてん車でいくことにしました。いくときはのぼりぎかであらかったけど、「まけるもんか。」とおもってがんばりました。

スイムは、かいけのプールでれんしゅうしました。わたしはバタ

足がにが手なので、ビートばんをつかってなんでもれんしゅうしました。くりかえしれんしゅうしていくうちに、タイムがちまりました。れんしゅうしすぎて足のさきからもまでしびれたようにじんじんしました。なんどもやめたくなったけど、おとうさんがいつもそばにいてくれて、

「もうすこしだ。」

とはげましながらおしえてくれました。

大かいの日がきました。スタートがちかづくにつれてドキドキしてきました。じゅんびうんどうをするばしょにいったとき、やさしそうな女の子が、

「ともだちになろう。」

と、えがおでいってくれました。わたしは、きんちょうしていたしふあんだったからとてもうれしかったです。

「よいい、バン。」

大きなピストルの音でおよぎはじめました。バタ足を力いっぱいすることと、手を四回かいてからいきつきをすることにきをつけました。つきは、バイクです。とめてあるじてん車にいそいでまたがってたちこぎをしました。足くびに力を入れて、おもいきりこいで、いつきに五人ぬきました。からだにかぜがおもいきりあたってさむかったです。とうとうさいごのランになりました。わたしはからだの力をぜんぶふりしぼってはしりました。三人ぬきました。でも、うしろから足音がせまってきてぬかれそうでした。わたしは「ぬかれないぞ。」とおもってひっしではしりました。

ゴールテープをきったとき、ぱつとふりむくとうしろにたくさん

人がいました。わたしは「やったあ。」とおもいました。けっかは三
いでした。どのしゅもくもれんしゅうのときよりもタイムがはやく
なっていて、とてもうれしかったです。それから、あの女の子がニ
ッコリして、

「おめでとう。」

と、いつてくれました。女の子は四いでした。

わたしは、この女の子がすごい、とおもいました。じぶんはまけ
たのに、わたしに、

「おめでとう。」

といつてくれたからです。

わたしはトライアスロンに出て二つのたからものをみつけまし
た。一つ目は、れんしゅうして一しょうけんめいがんばること、二
つ目は、がんばった人に、

「おめでとう。」

といえるあつたかいきもちです。わたしはこれからもスポーツをが
んばつて、たからものをたくさんみつけていきたいです。